

『PCA 商魂 DX』『PCA 商管 DX』 『売上じまん DX』『仕入じまん DX』 Ver.1.0 Rev.2.00 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

KDH171220

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

Rev.2.00のプログラムでは、データバージョンが更新されますので、アップデート前に必ずデータのバックアップを実行してください。

◇部門グループ

部門をグループ化し、部門グループでの分類・集計を可能にしました。

- 「システムの基本仕様」-「部門グループ」
- 「共通操作(全般)」-「部門グループの参照」
- 「前準備」-「部門グループの登録」

◇部門別セキュリティ

領域ユーザーにロック部門を設定し、マスターや伝票の更新・参照を制限します。

- 「システムの基本仕様」-「部門別セキュリティ」
- 「セキュリティ処理」-「領域ユーザーの登録」

◇クレジット管理

クレジット払いの売上を、伝区が「クレジット」の売上傳票を入力することで、決済会社別や決済日別の売上額や決済手数料を計算・管理します。

- 「売上処理の概要」-「売上傳票」、「クレジット管理」
- 「前準備」-「決済会社の登録」
- 「売上処理」-「売上傳票入力」-「伝区」、「決済情報の入力」
- 「回収処理」-「債権明細表(クレジット)」

◇仮受金・前受金管理、前払金管理

回収における「仮受金」と「前受金」の入金伝票入力を可能とし、仮受金管理・前受金管理を行います。

- 「回収処理の概要」-「入金の方考え方」
- 「回収処理」-「入金伝票入力(伝票式)」-「科目」、「仮受金・前受金の振替と返金」、「振替状況の確認」
- 「会計処理」-「仮受金残高表」、「前受金残高表」
また、支払における「前払金」の支払伝票入力を可能とし、前払金管理を行います。
- 「支払処理の概要」-「支払の方考え方」
- 「支払処理」-「支払伝票入力(伝票式)」-「科目」、「前払金の振替と返金」、「振替状況の確認」
- 「会計処理」-「前払金残高表」

◇納品書、請求書

単票用紙について、部分的に様式を変更した新用紙を提供します。

※旧用紙も引き続き使用することができます。

これにより以下の変更が行われています。

○納品書

- ・用紙選択肢が増えます。
- ・条件指示項目の明細行数と備考について、旧用紙と新用紙で別々に指示します。
- ・新用紙では税率を備考に印字します。
- ・新用紙では「内消費税等」と「ページ累計」を印字しません。

○請求書

- ・用紙選択肢が増えます。
- ・条件指示項目に「御買上額欄」という指示項目が追加されます。
- ・新用紙ではコメント(任意印字内容)を2行入力できます。

○納品書フリーフォーマット

- ・新用紙で設計したフォームを提供します。
- ・「税抜合計」と「税合計」という項目を追加しました。

○請求書フリーフォーマット

- ・新用紙で設計したフォームを提供します。
- ・「買上額1」「買上額2」「今回請求額」の集計条件が変更されます。既存のフォームは同等の印字ができるようにコンバートされます。

◇見積伝票入力、受注伝票入力、売上傳票入力

原価に最終仕入単価を適用するとき、在庫締切日以前の伝票も検索するようにしました。

◇送り状、送り状のフリーフォーマット

2017/6月頃に発行された、ヤマト運輸の新しい送り状に対応しました。

※XシリーズでもRev4.52で対応しました。

○送り状

条件指示項目を追加して、新旧両方の送り状を印刷可能にしています。

→「送り状」の「ヤマト運輸は旧様式で印刷する」

○送り状のフリーフォーマット

電話番号からカッコやハイフンを取り除いて数字だけを印刷できるようにしました。

→「フリーフォーマット」の「送り状固有の印字条件」

初期提供するヤマト運輸のフォームも新しい送り状で設計されています。

ただし、新しいフォームは新規データ領域を作成したときに作成されます。既存のデータ領域は古いフォームのままにしています。

既存のデータ領域を新しいフォームにするには、フォームを修正するか、製品ディスクに保存されたフォームデータをインポートします。

◇注文書

注文書で、『引当発注伝票の作成』で作成された発注伝票でも、摘要に文字が入力されていればそれを出力するようにしました。

旧Revisionでは、基になっていた受注伝票の得意先名を出力していました。

◇引当発注伝票の作成

受注伝票の得意先を発注伝票の直送先に設定したとき、直送先先方担当者を受注伝票に入力された先方担当者を設定するようにしました。

旧Revisionでは、得意先マスターに設定された先方担当者を直送先先方担当者としていました。

◇仕訳データの作成

仕訳データの摘要に、売上傳票や入金伝票の摘要を出力できるようにしました。また、仕訳データの摘要に何も出力しないことも可能にしました。

◇その他

○セット商品入力や部品展開を行ったとき、展開した明細の数量がシステムの制限を超えたとき警告メッセージを表示するようにしました。

○チェックリストの消費税額に消費税調整額も含めて出力するようにしました。